

簡単に有効活用！ 子育てサポートファイル「ガウラっ子」

サポートファイルって何？

ライフステージごとのつながりを
スムーズにするための
ツールのひとつです

お子さんの成長に合わせて
お子さんの様子を記録し
お子さんに関わる方々
(幼稚園・保育所・学校の先生方や
相談に乗ってくれる人)と
お子さんの得意なこと・苦手なこと
好きなこと・嫌いなことを
共有するためのファイルです



親御さんにとってのメリット

サポートファイルに記録しておいて共有するとこのようなモヤモヤの解消に役立ちます。

「幼稚園や保育所ではうちの子が何が苦手で何が得意かわかってもらえていたのに、

小学校に入学したらわかってもらえるかな…」

「また同じことを伝えなければならないの？」

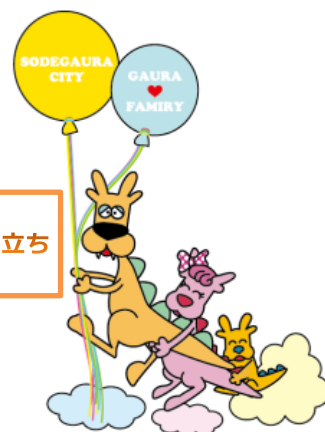
「病院に行って生育歴を全部伝えられるかな…」

お子さんに関わる方々に、サポートファイルに書き込んでもらいましょう！
正確に、そしてスムーズに伝わります。「覚えておかなきゃ…」というストレスの解消に役立ち
「記憶より記録」として残すことができます。

「面談で先生に言われたことを忘れてしまった…」

「小学校の先生から中学校の先生にきちんと伝えてほしいことがあるけど、

言葉で説明して伝えたいことが伝わるかな…」



お子さんに関わる方々にとってのメリット

サポートファイルを見せてもらうことで

親御さんが積み重ねてきたものを理解することができます。

また、保育所、幼稚園、学校などから、親御さんに伝えたいことを

サポートファイルに先生方が書き込んだり、渡したいプリントなどを

ファイリングしたりすることで、情報の共有が確実にになります。



A cartoon illustration of a yellow kangaroo with large eyes, a black nose, and a red collar. It is standing on its hind legs, holding a green leaf in its right hand and pointing its left index finger upwards. A small orange triangle is visible in the top right corner.

- ① 親御さんがサポートファイルを保管します。
- ② 気になったこと、忘れたくないことなどを書けるときに書き込みましょう。
しかし、書くことがストレスにならないよう、「すべてを書く」というより、
「書きたいことや伝えたいことを書く」という思いで使いましょう。
- ③ 幼稚園・保育所からもらったもので保管しておきたいものは、
ファイルの中のクリアポケットに入れて保管することができます。
- ④ お子さんに関わる方々に書いてほしいことは、お願いして書いてもらいましょう。

	病名	発症時期	医療機関名	経過の要約	
今までにかかった主な病気について		年 月 日頃			
		年 月 日頃			
		年 月 日頃			
		年 月 日頃			
		年 月 日頃			
		年 月 日頃			
後遺症状の有無					
その他 備考(このことで 注意すること)	○アレルギー、アトピーについてはも興味持たずに記入して下さい。				
かかりつけの 医療機関	科名	医療機関名	連絡先	主治医	備考
その他の 附加情報	投薬の状況				
サポートファイルについて	□このサポートファイルに添付すること				
	サポートファイルについて □もらった時期（ 年 月 日頃） □もらった場所【 】				

[illegible]

「就学期」シート

入学前に、それまでのことをまとめるシートです。

正確に書けなくても大丈夫です。

だいたいの時期について記入しましょう。

かかりやすい病気や、よく服用するお薬のことも

記入しておくといいでしょう。

【担当の先生から】のページは、

幼稚園・保育所の先生や関わってくださった方々に

書いてもらうページです。

スペースが狭くて書ききれない場合は、

他の紙に書いてもらったものに

2穴パンチで穴を開けてもらって綴じましょう。

巻末のクリアポケットに入れても大丈夫です。

【保護者から】のページは、

親御さんから就学後の学校の先生方や、

お子さんに関わっていく方々に向けて

伝えたいことを書くページです。

願い・想いを伝えましょう。

「相談記録」シート

ライフステージが変わるごとに、

必要なだけ差し込んでいくシートです。

いつ相談したか、

どこの誰に相談したか、

何を相談したか、

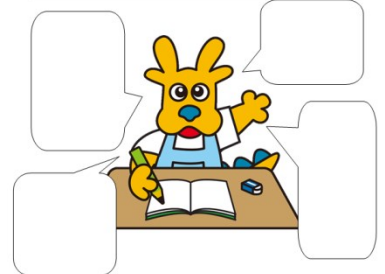
どんなアドバイスをもらったか等

忘れずに書いていくとあとから役立ちます。

[illegible]

== 参 考 资 料 ==

学校の先生にお子様のことをわかってもらいましょう。行動の特徴や対応の仕方など保護者の持っている情報を上の吹き出しに自由にまとめてみましょう。



例)・いつも笑顔で挨拶をすることができます。

- ・数字に多少とも興味を持っています。時間が気になって、船室に身が入らなくなることもあります。
- ・一直の船室で出された指示を理解することは苦手です。個別であれば理解できます。
- ・船室を飛び出した後の場所探しで下使い。先生の動向はしっかりとわかります。
- ・「ぐんぐん」の音を船頭用としています。〇〇からは発作は起こっていません。
- ・相手の表情から気持ちを読むことが苦手です。
- ・食べ物のお楽しみが多いです。野菜は全く食べられません。

◇保護者から

○関心（入学前）の男子さんの様子について ※入との関わり方など生活実況や健康が主		
○中学校健康診断時の様子について		
○春は授業色手紙・夏色手紙・精進色紙や健康色紙について		
色紙手紙	授業色紙等	交付年月日
春は授業色手紙	給	年 月 日
夏色手紙		年 月 日
精進色紙や健康色紙	給	年 月 日
○入学後の男子さんの生活について（趣味・働き・心配なことなど）		
学校 生活 家庭や 地域で の生活 様	「学習面」	
	「生活面」	
	「健康面」	

◇学校の先生との話し合い時のメモ

「相談記録」シート

★相談記録（関係機関での相談内容を記録しておきましょう。）

(いただいた資料等は明記し、ファイルに綴じていきましょう)

[illegible]

「学齡期」シート

小学校、中学校、高等学校と、
ライフステージごとの
シートがあります。
進級、進学のために
書き足しましょう。
なめらかな接続が期待できます。

[illegible]

むす学校等		学校)		令和元年	年	月	日
学年	1年	2年	3年	先生	先生	先生	先生
教育活動 及び 行事等 について	〇事務関係について		〇入学関係について				
地域で対応している支援機関及び連携の状況							
	支援機関名	連絡先	支援内容（どのような支援を受けているか）				
学 校 専							
区 専							
幼稚園							
福祉関係							
その他							
	1年	2年	3年				
授業など の状況							
	1年	2年	3年				
その他（ お問い合わせ）							
1年1学期							
2学期							
3学期							
1年2学期							
2学期							
3学期							
1年3学期							
2学期							
3学期							
①学校行事等の概要をまとめる 学校でこのサポートプランのコピーを保管し、利用すること 関係機関へ 所望しければ							
②この学校等へ引き継ぎでお子様の転校及び転所等（学校の先生の要請）							

高等学校等		学校		年	月	日
担任	1年 先生	2年 先生	3年 先生			
授業計画及び その進捗 について	○教材計画について		○既入課済について			
地域で実習中になっている実習施設及び実習内容 先修施設 進級先 実習内容（どのような実習を行っているか）						
学 校 名						
医 療						
知識習得						
福祉関係						
その他						
	1年	2年	3年			
授業のこと 等について						
進級について 進級しない理由	1年	2年	3年			
主な保護者 の意見						
関係者との 意見交換	1年	2年	3年			
（以下空白で記入可） 学校でのサポートプランのコピーを保管し、利用すること （学校長、校長、教頭、教務主任、保健室長、養護教諭、担任、生徒指導員、進路指導員、関係者）						

「卒業後のための」シート

学校を卒業したあとの進路先の方々に向けて
親御さんがお子さんのことを伝えたり、
お子さんご本人が自分自身の願いを書いたり
することができます。

5 卒業後のためのシート

の連絡先と相談するときにご利用しましょう。

		作 成 日		年 月 日	
姓 名		姓 別		生 年 月 日	
住 所				新 統	
出身校				新 統	
ご両親 保護者名		姓 名			
住 所					
将来の生活の希望					
希望と思われる支援					
連絡先の方へ伝えたいこと（費用・期間や健康上のことなど）					
連絡先へ送るための方法等					
送付手段		所要時間			
その他					

ライフステージ別相談先

ライフステージが進むごとに右に進みます。

その時期ごとに合った相談先がたくさんあります。

自宅の近くで相談できるところ、

あまり近すぎると…という方は離れたところ、

仕事がお休みの日に相談したい、

相談というよりもただ話がしたい、

相談先の選び方は人それぞれ違います。

小さな不安も、大きな心配も、

悩まずにまずは話してみましょう。

